



運動会振り返り集会

【5月30日1校時】

昨年度から始めている標記の会を今回も①校長からの話、②運動会の動画鑑賞、③応援団あいさつ、スローガングループ紹介、④みんなからのお返しの言葉発表の順で行いました。

練習は本番のように、本番は練習のように。運動会への取組を通して「シン・伊倉ブランド」の「語先後礼の学校一礼」「はっきり歯切れよく あいさつ・返事」をしっかり身に付けてきた児童です。

また、児童会スローガン「元気・協力・思いやりのあるシン・伊倉っ子」もすっかり浸透しました。

優勝を目指して練習に励むプロセス(過程)の中で競い合ったり協力し合ったりする仲間づくりができます。その仲間とは横のつながりのみならず縦のつながりでもあります。上級生が必死になって努力する姿を下級生は憧れの気持ちや信頼の念をもって見つめています。



そして本番が終わればそれでよし、ではなく、次の活動への意欲を高める機会が大切です。お返しの言葉発表の中には「応援団になりたい」などの来年度を見据えた決意表明もありました。写真は応援団からのあいさつを聴き、惜しみない拍手を送る児童の姿です。

そして本番が終わればそれでよし、ではなく、次の活動への意欲を高める機会が大切です。

◇本校ホームページも随時更新しています。[伊倉小学校](#)で検索

シン・教育活動

本校の教育活動は新型コロナウイルス感染症の(5月8日からの)5類移行に際して、従来の形と新しい形の両方で行っています。

従来の形にした例のひとつが(玄関先ではない)家庭訪問です。各学級担任と子供さんや保護者との人間関係づくり、信頼関係づくりに資することをねらいとした観点からです。

新しい形の例のひとつが7月の授業参観後の学級懇談会に代えての教育相談です。子供さんの多様性を踏まえ、特別支援教育の視点から個別最適な学びの場を検討する機会としても設定したところです。

本年度当初の始業式で「シン・伊倉ブランド」を提案した際、シンには「新、進、真、信、親、芯、清、伸、深」などの漢字があることを紹介しました。子供たちの心身の健全育成に向け、これらの漢字の意味も踏まえ、先生方の働き方改革と併せて本校のシン・教育活動に取り組んでいます。

マスクの着脱について

マスクについては、本人の意思に反して着脱を強いることなく個人の主体的な判断が尊重されるよう配慮をお願いします。くまモンも「マスクは効果的な対策だけど、付けなくて良い時もあるモン!」と状況で付け外すことを呼び掛けています。

